



■ 高鍋点訳サークル「おすず」

高鍋点訳サークル「おすず」は、視覚に障がいのある方へ町の情報を届けるため、町広報紙等の点訳活動をはじめ、視覚に障がいのある方の支援活動を行っています。今年で設立 40 年目を迎え、現在は 10 名の会員が活動しています。

毎月第 2・第 4 火曜日の勉強会では会員同士で技術を学び合いスキルアップに努めています。広報たかなべやお知らせたかなべ、議会だよりは、会員が役割分担や相談をしながら、それぞれ自宅で点訳作業を進めています。これまでに、「それいけ社協!」や高鍋町史などの点訳にも取り組み、情報を必要とする多くの視覚に障がいのある方々へ点訳本を届けてきました。

会員の一人は、「老後の楽しい趣味ができた感覚で、認知機能の維持にもつながり、誰かのためになっている点がとても良いです。町のことに詳しくなり、新しい発見もあって面白いです」と話します。



▲ 月に 2 回行われている定例講座の様子

■ 活動に参加したいときは?

長年にわたり地域を支え続けている「おすず」の活動。皆さんも点訳の活動に参加し、地域貢献してみませんか。

活動に興味のある方は、会長の榎木さん
(☎070-8993-0306) までお問い合わせください。



◀ 広報たかなべの点訳本

有限会社ミップ様よりご寄付をいただきました

5 月、有限会社ミップ様よりご寄付をいただきました。

有限会社ミップ様からのご寄付は、令和 5 年度から実施している「高鍋町中学生海外短期留学派遣事業」に活用させていただきます。本事業は、「語学力」および「異文化理解力」の習得はもちろん、「挑戦する意欲」や「コミュニケーション力」、「積極的に行動する力」等を身に付けさせ、将来グローバルな視点を持って活躍する人材を育成することを目的として実施しています。



企業版ふるさと納税

6 月、株式会社国土開発コンサルタント様から、企業版ふるさと納税によるご寄付をいただきました。同社からのご寄付は 3 年連続となります。いただいた寄付金は、「デジタル・新技術の徹底活用事業」に活用し、デジタル技術を活用した住民サービスの向上や町民の利便性向上など、より良いまちづくりを推進してまいります。

